

コミュニティ・スクールとは？

2月16日に行われた福生五小コミュニティ・スクール成果報告会において、杉並区立天沼小学校学校運営協議会委員・学校支援本部アドバイザー、文部科学省コミュニティ・スクール推進員（CSマイスター）の井上 尚子 様に講演をしていただきました。その話の中に、「コミュニティ・スクールとは？」に関するお話がありましたので、その内容を参考にしてコミュニティ・スクール（CS）について御紹介します。

◇コミュニティ・スクールは、学校運営協議会（コミュニティ・スクール委員会）を設置した学校のことです。

◇委員会の委員は、福生五小では、保護者代表（PTA会長）・学校支援地域組織コーディネーター・児童館長・保育園長・民生児童委員・青少年健全育成委員・地域住民（町会長等）・市議会議員等と校長の10名によって構成されています。また、拡大委員としてさらに5名の方が委員会に参加しています。

◇委員会の役割は下記の3つです。

- ①校長が作成する学校経営方針を承認すること。
- ②学校運営について、教育委員会や校長に意見を述べること。
- ③教員の任用について教育委員会に意見を述べること。

（個別の任用について意見を述べることはできません。）



◇上記の3つの役割を生かすために必要なことは、地域と学校の連携・協働体制をすすめることです。

◇地域と学校の連携・協働体制は、立場の異なる人が同じ目的のために、対等の立場で協力し合うことです。

福生五小のスローガンと目的

スローガン：「笑顔を育む 笑顔を支える 福生第五小学校」

目的：「子供たちの成長のために」「子供たちの笑顔や喜ぶ姿のために」

◇4つの部会の活動で地域と学校の連携・協働の実現を図っています。

- ①学校地域交流部会
- ②安全・安心部会
- ③愛鳥・環境活動支援部会
- ④教育活動支援部会

福生五小でこれまでに取り組んできたことを、4つの部会の活動に位置付けて推進しています。

◇4つの部会で行う活動に参加して、そこで感じた子供たちや先生の様子、学校のあり方、教育活動の状況などについて、コミュニティ・スクール委員に伝えることで、委員がそうした意見を学校運営に反映させることができます。

そのためにも、ぜひ無理のない範囲で、できることから活動に参加していただきたいと思っております。

コミュニティ・スクールとは、保護者・地域等の方々が、教職員とともに学校づくりの当事者となって、より良い学校づくりを目指していく学校です。